

# 「イノベーション創出基礎的研究推進事業」及び「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」の評価について(案)

## 1. 評価対象

### イノベーション創出基礎的研究推進事業【農林水産省】

概算要求額：107.6億円（平成20年度）

全体計画：864億円（平成20年度～平成27年度）

（国費投入総額は、20年度予算概算要求額に単純に8年間を乗じて算出したもの。終了年度は、現行の食料・農業・農村計画の目標年度（平成27年）に合わせたもの）

#### < 概要 >

農林水産業・食品産業等におけるイノベーションにつながる革新的な技術シーズを創出するための基礎的な研究を提案公募方式により推進する。

### 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業【農林水産省】

概算要求額：89.7億円（平成20年度）

全体計画：720億円（平成20年度～平成27年度）

（国費投入総額は、20年度予算概算要求額に単純に8年間を乗じて算出したもの。終了年度は、現行の食料・農業・農村計画の目標年度（平成27年）に合わせたもの）

#### < 概要 >

農林水産業・食品産業等の発展や地域の活性化などの農林水産政策の推進及び現場における課題の解決を図るため、実用化に向けた技術開発を提案公募方式により推進する。

## 2. 評価検討会

### 評価検討会メンバー

奥村 直樹	総合科学技術会議議員
本席 佑	総合科学技術会議議員
(座長) 手柴 貞夫	評価専門調査会専門委員
加藤 順子	評価専門調査会専門
榊原 清則	評価専門調査会専門
中西 友子	評価専門調査会専門
奥谷 康一	有限会社シーバイオン代表取締役 香川大学名誉教授
田中 隆治	サントリー株式会社技術監

### 評価検討会日程

第1回：10月11日（木） 16：00～18：00

第2回：10月23日（火） 16：00～18：00

### 3. 調査・検討項目

評価検討会においては、以下の項目について調査・検討する。

- A. 科学技術上の意義  
当該研究開発の科学技術上の目的・意義・効果。
- B. 社会・経済上の意義  
当該研究開発の社会・経済上の目的・意義・効果。
- C. 国際関係上の意義  
国際社会における貢献・役割分担、外交政策との整合性、及び国益上の意義・効果。
- D. 計画の妥当性  
目標・期間・資金・体制・人材や安全・環境・文化・倫理面などからの妥当性。
- E. 運営等  
事前評価の実施状況、評価結果の反映の仕組み等。

なお、評価対象事案に合わせ、評価の視点等を具体的に明確にして、調査・検討を実施する。

### 4. 検討スケジュール

- |           |  |
|-----------|--|
| 9月7日(金)   | 評価専門調査会 【済】<br>評価検討会の設置、スケジュールの確認等   |
| 10月11日(木) | 第1回評価検討会<br>ヒアリング、追加質問と論点の検討<br>追加質問事項をとりまとめ、農林水産省へ対応を依頼<br>評価コメントに基づき評価の骨子を整理 |
| 10月23日(火) | 第2回評価検討会<br>追加ヒアリング、評価の骨子の検討<br>追加の評価コメントを踏まえ評価報告書原案を作成                        |
| 11月5日(月)  | 評価専門調査会<br>評価報告書案の検討   |
| 11月中旬～下旬  | 総合科学技術会議本会議<br>評価報告書案に基づく審議・決定   |